

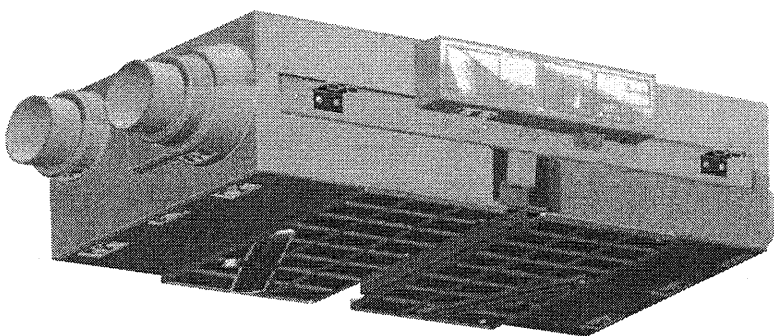
全熱交換型 スーパーエコ換気ユニット

取扱説明書

お客さま用

型式

SE200R



このたびは、全熱交換型スーパーエコ換気ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用に際してこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。とくに「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みになり、安全にお使いください。

- ・ この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保管しておいてください。
- ・ 保証書は、お買い上げ日・販売店名・保証内容などをよく確認し、大切に保管しておいてください。

■ もくじ

1. 安全上のご注意	2
安全にご使用いただくために必ずお守りください	
お願い	
2. 各部の名称とはたらき	3
3. 取り扱いかた	4
4. 点検、お手入れ	5~6
お手入れのしかた	
故障と思われたら	
アフターサービス	
5. 外形図	6
6. 仕様	7
● 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	(裏表紙)
● 保証書	(裏表紙)

1. 安全上のご注意

● 安全にご使用いただくために、次のことがらを必ずお守りください。
表示されている内容に反して間違った使い方をしたときに生じる危害や損害について、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った使い方をすると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容が示されています。
 注意	誤った使い方をすると人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容が示されています。

お守りいただく内容について、次の図記号で区分して説明しています。

	この図記号は、してはいけない「禁止」内容を表します。
	この図記号は、必ず行う「強制」内容を表します。

警告

指定電圧以外では使用しないでください。 火災や感電の原因になります。		絶対に改造しないでください。 分解・修理は自分でしないでください。 火災・感電・けがの原因となります。 ※販売店または工事店にご相談ください。	
ガスが漏れた場合は、 窓をあけて換気してください。 爆発や引火の恐れがあります。		風の吹出し口・吸込み口に 指や棒を入れないでください。 ファンが回転しているためけがの原因になります	
異常時（異臭や異音の発生）は、 専用ブレーカーを切ってください。 異常のまま運転すると火災・感電・故障などの 原因となります。		水につけたり、水をかけたりしないで ください。 ショートや感電の恐れがあります。	

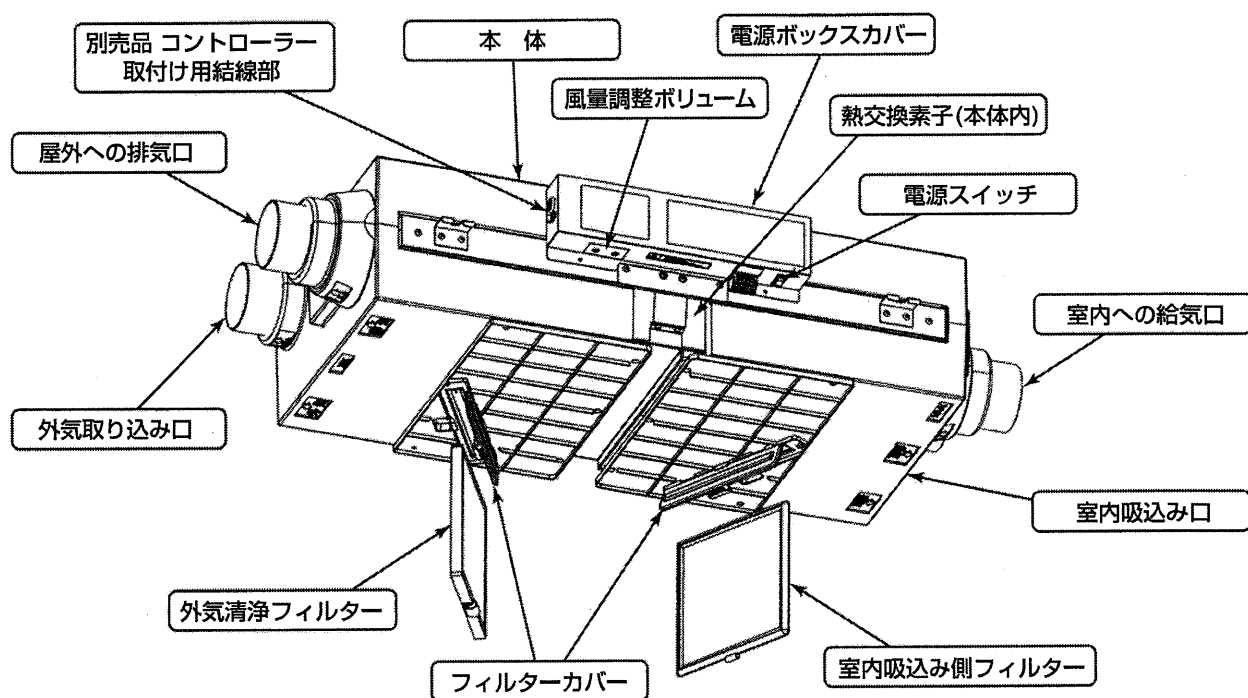
注意

お手入れのときは、足元に注意し、手袋などで手を保護し、 機械が停止してから行ってください。不安定な台に乗ったり、 スリッパを履いたままでの作業はおやめください。 けがをする恐れがあります。		お手入れのあとは、フィルターやカバー などの取り付けは確実に行ってください。 部品の落下によるけがをする恐れがあります。	
長期間運転しないときは、分電盤の ブレーカーを切っておいてください。 漏電や火災の恐れがあります。		取付け及び電気の工事は、お買い上げの販売店、 または専門の業者に依頼してください。 感電や、機器の落下によりけが、火災の原因になります。	
塩害が発生する恐れがある場所では 使用できません。 腐食の発生によって騒音が発生したり、破損がおきる 原因となることがあります。			

お願い

一般の住宅用以外の用途には使用しないでください。 業務用としては使用しないでください。 性能がでない、機械の寿命を縮めるなどの恐れ があります。		お手入れのときは、分電盤のブレーカー を切ってから行ってください。 感電やけがをする恐れがあります。	
---	---	--	---

2. 各部の名称とはたらき



各出入り口はダクト(ホース)に接続されています

【 外気取り込み口 】

新鮮な外気をここから吸気します。

【 室内への給気口 】

吸気した外気を熱交換して室内温度・湿度に近づけた状態で、ここから給気します。

【 室内吸込み口 】

室内の汚れた空気をここから取り込みます。

【 屋外への排気口 】

室内の汚れた空気をここから排気します。

【 熱交換素子 】

排気する室内空気の熱エネルギーをここで回収し、室内へ供給する空気に熱エネルギーを与えます。

【 外気清浄フィルター 】

取り込む外気に含まれる粉塵、花粉などをこのフィルターで除去し、きれいな空気にします。

【 室内吸込み側フィルター 】

室内の空気に含まれるチリや埃を除去し、機械内部を保護します。

【 電源ボックスカバー 】

運転に必要な電気を供給し、ファンの円滑な回転を制御する部品を保護しています。

【 電源スイッチ 】

本体の電源をON/OFFします。運転時、電源スイッチのネオンランプが点灯します。

【 風量調整ボリューム 】

給気 (SA) 側と排気 (EA) 側の風量を別々に無段階で調整可能なボリュームスイッチです。
施工業者様が施工時に設定した後、お客様が調整することはありません。

【 別売品コントローラー取付け用結線部 】

別売品のコントローラーを接続する時に、中継コードを通すための結線部です。

3. 取り扱いかた

本製品は、24時間連続運転して換気を行うことによって、室内の空気をきれいに保つ装置です。本体に電源スイッチ(パイロットランプ点灯時-ON)がついていますが、常に運転している状態にするため、施工時にONとした後は通常操作することはありません。

< 運転のしかた >

- 運転を始めるには、分電盤のブレーカーを入れます。…………… 本体が運転を始めます。
- 運転を停止するには、分電盤のブレーカーを切ります。…………… 本体が停止します。

[別売品のコントローラー(型式：CONT1)を使用する場合]

- ・ コントローラーには、ON/OFFスイッチが付いていませんので、上記同様に分電盤のブレーカーでON/OFFします。

[壁などにON/OFFスイッチがついている場合]

- 運転を始めるには、分電盤のブレーカーを入れ、電源スイッチをONにします。… 本体が運転を始めます。
- 運転を停止するには、電源スイッチまたは分電盤のブレーカーをOFFにします。… 本体が停止します。

(ご注意) 分電盤のブレーカー、スイッチを入れても、運転しているかわかりにくい場合がありますが、これは機械が天井裏にあり、運転音が聞こえにくいからです。部屋の給気口から風が静かに吹き出していれば故障ではありません。

(ご注意) 外気温が低くなる場合は、排気が室内から本機を通して排気される時に、空気中の水分が結露したり凍結して、本体から水が滴下する場合があります。
外気温が-15℃を下回る場合は、運転を停止してください。
-15℃以下の状態が6時間以上連続するような環境で使用すると結氷や結露が生じ熱交換素子が破損したり、結露水が滴下することがあります。

(ご注意) 運転開始時、給気口よりにおいを感じる場合がありますが、熱交換器が持つ特有のにおいで、短時間の運転でなくなります。

< 上手な使い方 >

- 室内に新鮮な空気を供給し、同時に汚れた空気を屋外に排出させるために、常に連続して運転することをお勧めします。
- 本機を運転することによって、室内の熱エネルギーを無駄に排出することがなくなります。使用している暖房・冷房装置の働きを助けることになりますので、大きな省エネ効果が得られます。

(ご注意) 開放型ストーブ、石油ファンヒーターなどの暖房機を使用される場合は、それぞれの暖房装置の換気のすすめにしたがって、十分な換気をおこなってください。

4. 点検、お手入れ

< お手入れのしかた >

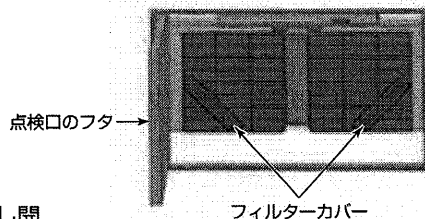
- ☐ 本機の性能を保つために、フィルターのお掃除を3ヶ月に1回程度の間隔で行ってください。
- ☐ お手入れの前に、分電盤のブレーカーを必ず切ってください。
- ☐ お手入れの際は、しっかりした台を足場に使用し、手袋を着用して、けがなどしないように十分気をつけて作業してください。

1. フィルターを取り外します

(本体が設置してある場所に点検口があります。まず、この点検口を開けてください。)

(ご注意) ・寒冷地で使用される場合、本体の下にオプションのトレーが取付けてある場合があります。その場合は、トレーの取扱説明書に沿ってトレーを取り外し後、本説明書の内容でお手入れをしてください。

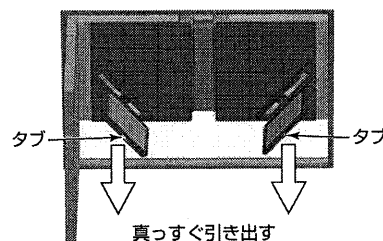
- 本体底面のフィルターカバーの、フックをつまんでロックを外し開きます。(外気側、室内側の2カ所)
- それぞれのフィルターについているタブを引っ張ってフィルターを下におろします。



2. フィルターの清掃

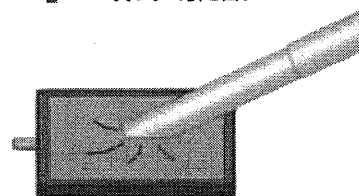
掃除機で、フィルターの両面のホコリを吸い取ってください。

- 外気清浄フィルターは樹脂枠でできています。掃除機の吸込み先で傷つけないようにご注意ください。
- フィルターは水洗いができます。掃除機で汚れが取れない場合は弱い水流で洗い流してください。汚れが落ちない場合は中性洗剤を入れた水またはぬるま湯に浸して洗ってください。



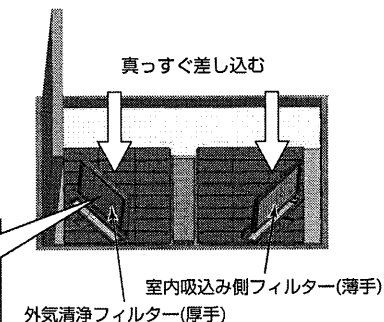
(ご注意) ● 外気清浄フィルターの水洗いは外気温度が0℃以下の場合、凍結及び結露し本体から水が滴下する恐れがありますので行わないでください。この場合は掃除機による清掃をお願いします。

- 外気清浄フィルター（樹脂枠）は分解できません。



3. フィルターを元通りに取り付けます

- 外気側、室内側のフィルターを、それぞれ元の角穴に差し込んでください。
- このとき、外気側はフィルターに表示している方向に合わせて差し込んでください。
- フィルターを奥までしっかりと差込み、フィルターカバーを「カチッ」と音がするまで閉じてください。



この面の反対側に「本体中心側」表示がくるようにする

(お願い) ・外気側フィルター（厚手）と、室内側フィルター（薄手）を間違えないように、もとの位置に差し込んでください。
・フィルターを差込み、フィルターカバーを閉じ、点検口のフタを閉じて分電盤のブレーカーを入れ、運転をおこなって、異常音がしないか、部屋の給気口から風が正常に出ているか、確認してください。

(ご注意) ・オプショントレーを取り外した場合は、トレーの取扱説明書に沿って元通りに取付けてください。

- ☐ 交換用フィルターのご用命は、お買い求めの販売店、または弊社までお申し付けください。
- ☐ フィルター交換の目安は、2年に1回程度の間隔で行ってください。

< 故障と思われたら >

次の表にあげるポイントを、もう一度確認してください。

症状	確認するポイント
●スイッチを入れているのに運転しない	・ブレーカーが切れていませんか？ ・停電ではありませんか？ ・本体の電源スイッチが切れていませんか？ (電源スイッチが入っていない場合、電源スイッチのランプは不点灯となります)
●運転しているのに、給気口から風が出てこない、排気口から風を吸い込まない	・フィルターにほこりが詰まっていますか？ (お手入れのしかた<5ページ>にしたがって、フィルターの清掃を行ってください)
●換気装置の音が以前より大きく感じる (脈動音がする)	・外気フードが目詰まりしていませんか？

以上の処置をおこなっても改善されない場合や、その他の症状の場合は、必ず分電盤のブレーカーを切り、運転を停止してから、お買い上げの販売店にご相談ください。

< アフターサービス >

☐ アフターサービスはお買い求めの販売店、または弊社までお申し付けください。

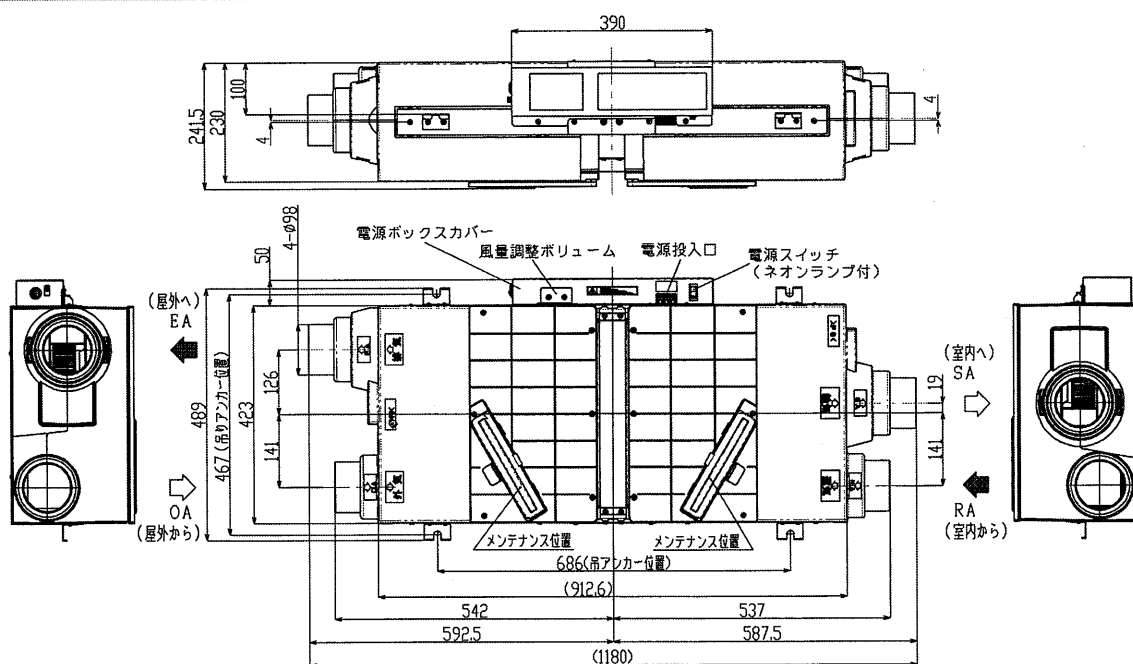
☐ 補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

この期間は経済産業省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

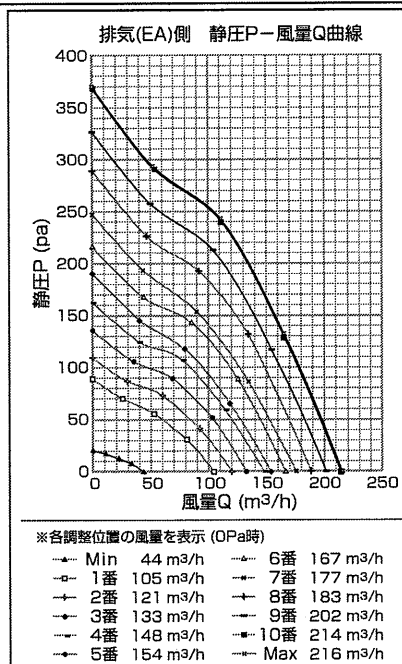
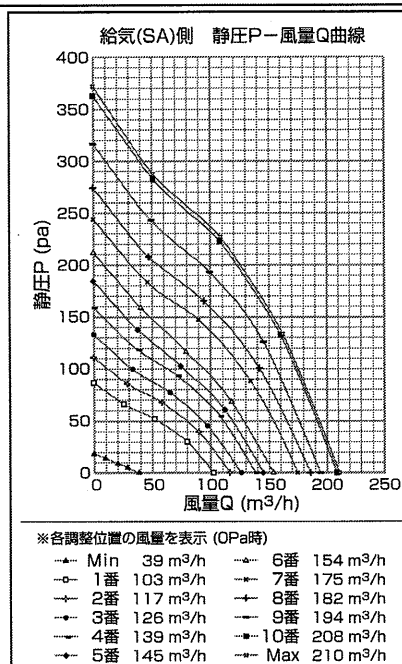
5. 外形図



6. 仕様

本体仕様	品名・型式		第1種全熱交換型ダクト換気ユニット・SE200R															
	熱交換方式		外気対環気対向流透過式による全熱（顕熱＋潜熱）交換方式															
	適合ダクト		呼び径φ100用（φ125用も使用可能）															
	設置基準		1フロアに1ユニットの設置を原則とします															
	定格電圧		50/60Hz 単相100V															
	最大消費電力		80W（各風量調整位置の消費電力は下記換気仕様の表をご参照ください）															
	風量調整範囲（Opa時）		40～210m³/h（P-Q曲線によります） ※給気側、排気側の風量はそれぞれ独立した状態で風量調整が可能です															
	定格時間		連続															
	風量調整位置		出荷時－8番に設定															
	使用温度範囲		－15℃～＋40℃															
	本体周囲温湿度		0℃～＋40℃、RH80%以下かつ外気－15℃では露点温度12℃(20℃、RH60%相当)となる絶対湿度以下 ※－15℃以下の状態で6時間以上連続するような環境で使用すると結氷や結露が生じ熱交換素子が破損したり、結露水が滴下することがあります。															
	フィルター		不織布フィルター（アクリル・ポリエステル）、質量法捕集効率：76%															
	モータ種類		ブラシレスDCモータ															
	電源スイッチ		本体AC電源ON/OFF用（ネオンランプ付、ON時一点灯） ※入力電源再投入は、電源OFF後、約7秒間おいてから投入してください															
	風量調整用ボリューム		給気用×1、排気用×1（マイナスドライバーにて調整可）															
	換気仕様	外形寸法		W1180×D510×H245mm(突起部含むMax.寸法)														
		吊りボルトピッチ		686×467mm（p.6外形図をご参照ください）														
点検口寸法		600×600mm																
製品質量		11.5kg																
風量調整位置		－	Min.	1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番	Max.	備考			
風量 (Opa時)		給気(SA)	m³/h	39		103	117	126	139	145	154	175	182	194	208	210		
		排気(EA)	m³/h	44		105	121	133	148	154	167	177	183	202	214	216		
消費電力		W	4.2		14.3	18.0	22.1	27.2	32.5	39.0	46.2	54.2	63.6	73.3	80.0			
騒音		dB(A)	－		33	35	37	41	42	43	45	46	47	48	48			
温度(顕熱)		暖房時	%	－	85	83	－	82	81	－	－	－	－	－	－	－		
		冷房時		－	76	74	－	71	66	－	－	－	－	－	－			
全熱(I/外比)		暖房時	%	－	78	76	－	73	72	－	－	－	－	－	－	－		
		冷房時		－	71	65	－	64	57	－	－	－	－	－	－			
有効換気量率		%	95															
※風量調整位置に対する速度指令電圧調整は、無段階調整のため目安値とします																		
※測定条件：消費電力はダクトを接続しない状態で測定します																		
※騒音は給排気口に1mダクトを装着し本体底面中央より真下に1.5mで測定します																		
付属品	①	取扱説明書（保証書は裏表紙に表示）										1部						
	②	施工説明書										1部						
	③	使用期間表示シール(施工時に使用)										1枚						
	④	防振ゴムφ25×φ10×8mm（施工時に使用）										8個						

（ご注意） ・騒音値は、弊社無響音室内で、本体中央1.5m下方の位置で測定したものです。実際の据付状態では、反響などの影響で表示値より高くなる場合があります。



● 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容表示を本体におこなっています。

(壁スイッチへの表示内容)

※右の内容を表示したシールを添付しています。壁スイッチの近辺に見えるように貼付けてください。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な仕様条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】 20××年

【設計上の標準使用期間】 15年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。



【製造年】 本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】 15年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件 JIS C9921-2による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hzまたは60Hz	
	温度	20℃	JIS C9603参照
	湿度	65%RH	
設置条件	設置条件	標準設置	機器の工事説明書による
	負荷条件	定格負荷(換気量)	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	常時換気 (24時間連続換気) 8760時間/年	

保証書

全熱交換型 スーパーエコ換気ユニット

◇型式	SE200R			本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。 お買上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
◇お客様	ご芳名 様			
	ご住所 〒() () () 電話() () ()			

◇お買上げ日	年 月 日			◇住所・店名
保証期間	対象部分	本 体		販売店 電話() () ()
	期 間	1 年		

◇印欄に記入のない場合は、無効となりますので必ず記入の有無をご確認ください。



ローヤル電機株式会社
ROYAL ELECTRIC CO., LTD.

〒108-0074 東京都港区高輪2-16-37 日本生命高輪第2ビル
TEL.03-5424-1861 FAX.03-5424-1864

《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買上げ販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買上げの販売店に依頼してください。
なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買上げ販売店にご相談ください。
- ご事情により、本保証書に記入してあるお買上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、下記にお問合せください。
- 次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買上げ後の取付場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障及び損傷
(ニ) 据付け工事の不備による故障及び損傷
(ホ) 業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷
(ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ト) 本書の指示がない場合

- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店又は、下記へお問合せください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

本製品の修理サービス及び製品についてのご相談等につきましては、お買上げの販売店または下記へご連絡ください。



ローヤル電機株式会社
ROYAL ELECTRIC CO., LTD.

URL : <http://www.royal-elec.co.jp>

東京本部 営業部 〒108-0074 東京都港区高輪2-16-37 日本生命高輪第2ビル
TEL.03-5424-1861 FAX.03-5424-1864
URL : <http://www.royal-elec.co.jp/>

熊谷工場 〒369-1106 埼玉県深谷市白草台2909-61
川本春日丘工業団地
TEL.048-583-6534